


まちなか居住の推進

- まちなか循環バスの沿線を居住誘導区域に設定
 - ・定期購入者へ市内スーパーの買い物券進呈(民間負担)
 - ・住民ニーズに応じてきめ細やかに停留所やルートを調整 ☆ルート変更・停留所7か所増設(令和元年7月)
 - ▶居住誘導区域は用途地域の約72%
 - 循環バス利用者数を約2割向上(R1目標対H24比)
- まちなか居住への支援
 - ・新婚、子育て、多世代同居、Uターン等世帯の住宅取得費を助成 ☆居住誘導区域・用途地域内・外で段階的に補助金額に差を設定(令和元年4月)
- まちなかへの市営住宅の集約
 - ・居住誘導区域外の4団地(105戸)を居住誘導区域内の2団地へ廃止・統合
 - ☆中津川3団地(25戸)廃止完了(平成30年10月)
 - ▶居住誘導区域内の人口密度下落抑制
 - 31.7人/ha(H31.3)→29.2人/ha(R17)
 - 社人研推計(23.8人/ha)から大幅下落抑制

期待される効果

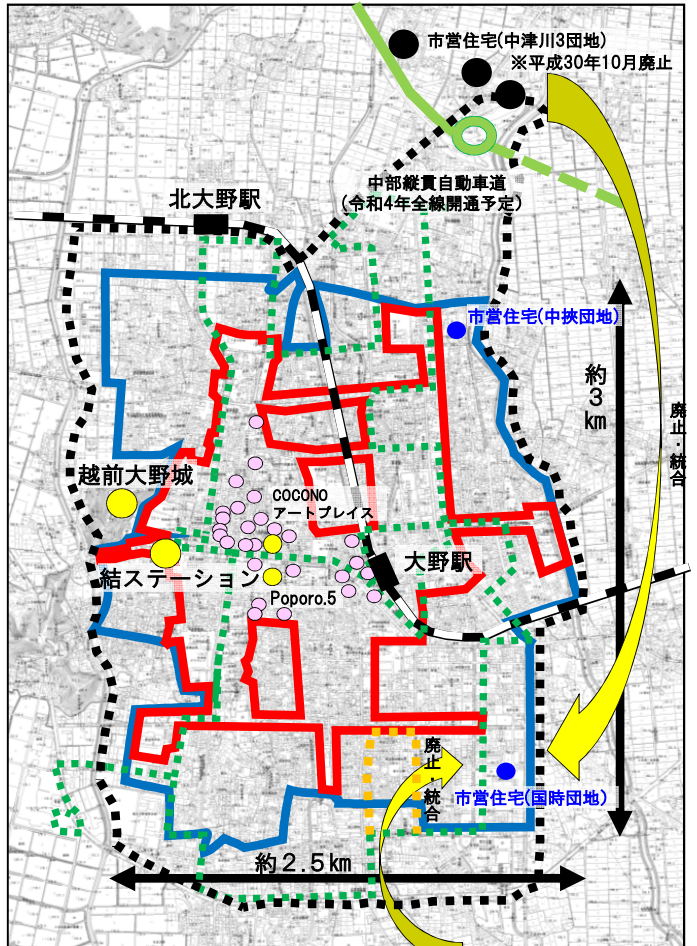
- まちなか居住環境の整備と地区集会所における健康プログラムの実施を通じて
- 介護給付費を約1.5億円/年抑制(R7)
 - ※要介護認定率1.9%抑制相当(越前おおの高齢者福祉計画)
- H25～R4の10年間で公共施設18施設を廃止・統合することで
- 今後10年間の更新経費を約8億円削減
- 維持管理費を約1.1億円/年削減
- ※大野市公共施設等総合管理計画及び大野市公共施設再編計画

郊外開発の抑制

- 令和4年度の中部縦貫自動車道(市内に2つのIC設置)の開通を交流人口の増加のチャンスと捉えつつも、IC周辺の郊外開発を抑制
 - インターチェンジ周辺の大規模集客施設の立地規制
 - ・H31年4月に特定用途制限地域(※)を拡大
 - ※大規模集客施設3,000㎡
 - 以上を規制
- 

結の故郷 越前大野

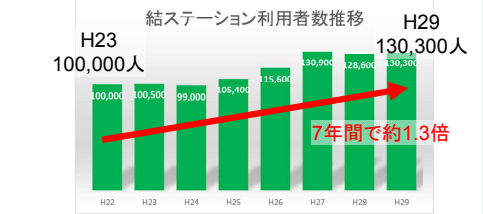
歴史と地域資源を活かした城下町の再生



- 都市機能誘導区域(用途地域の約28%)
- 居住誘導区域(用途地域の約72%)
- 用途地域
- まちなか循環バス
- まちなか循環バス(令和元年7月変更ルート)
- 空き家・空き地の活用実績
- 市営住宅(中津川3団地) ※平成30年10月廃止
- 市営住宅(中挾団地)
- 市営住宅(西里団地)

まちなかの賑わい創出

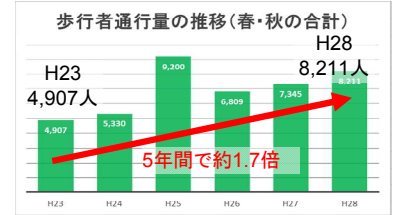
- 天空の城「越前大野城」とまちなかの結節点を整備
 - ・観光案内所、物産販売所、休憩所、駐車場等を備えた「越前おおの結ステーション」を整備(H21)、越前大野城に訪れた観光客をまちなかへ誘導
 - ▶越前おおの結ステーション利用者は順調に増加



- 官民連携による空き家・空き地再生
 - ・古民家を改修、ギャラリーを中心とした交流施設を整備(大野市)
 - ・元商業施設を解体、にぎわい交流施設(飲食店・広場)を整備(民間)
 - ▶平成20年から10年間で27件の空き家・空き地再生



- まちなか商店による体験型講座の提供
 - ・まちなかの商店の持つ様々な技と人柄に触れながら、ものづくりなどの体験ができる「越前おおのまち講座」を通年で開催
 - ▶平成28年度実績は延べ289店舗339講座 受講者数1,025人(市外受講者100人超)
 - ▶まちなか歩行者通行量が約1.7倍に増加(H28実績)



期待される効果

- 越前大野城を中心としたまちなかの賑わい創出により
- まちなかへの観光客数を約2割増加(R3目標対H27)※1
- これは観光消費額34.7億円、定住人口2,800人(6.0人/ha)に相当※2
- ※1越前おおの観光戦略ビジョン ※2観光庁資料より試算